

熊本県は、 マダニによる感染症が多発。 注意が必要です!

身近に潜む
危険生物
「マダニ」

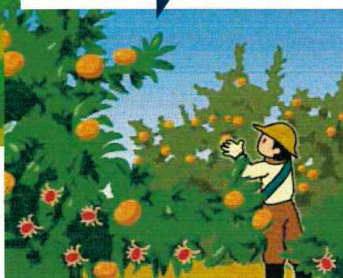
家族で話し合い
注意しましょう。

① マダニの生息場所



マダニは、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。

マダニは、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。



② マダニから身を守る服

野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう!

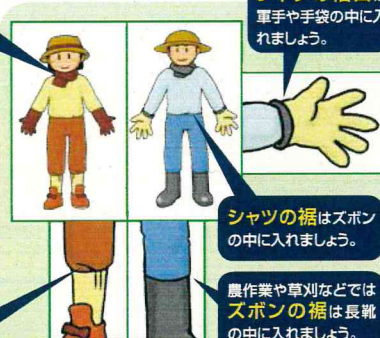
首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。



半ズボンやサンダル履きは不適当です!

ハイキングなどで山林に入る場合は、ズボンの裾に靴下を被せましょう。

シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れてみましょう。



シャツの裾はズボンの中に入れてみましょう。

農作業や草刈などではズボンの裾は長靴の中に入れてみましょう。

③ マダニから身を守る方法

上着や作業着は、家の中に持ち込まないようにしましょう。



屋外活動後は、シャワーや入浴で、マダニが付いていないかチェックしましょう。



ガムテープを使って服に付いたマダニを取り除く方法も効果的です。

マダニの多くは、長時間(10日間以上)のこともあ有る)吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置(マダニの除去や消毒など)を受けて下さい。

マダニに刺されたら数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。

④ 虫よけ剤の効果

マダニに対する虫よけ剤が、2013年から新たに認可されました。現在は、ディート、イカリジン(2種類の有効成分の忌避剤)が市販されています。

虫よけ剤の使用でマダニの付着数は減少しますが、マダニの付着を完全に防ぐわけではありません。虫よけ剤を過信せず、様々な防護手段と組み合わせて対策を取ってください。

